

## 岐阜県金融懇談会による地域課題解決に向けた取組の深化

- 地域課題解決に向け、岐阜県、金融機関、商工団体等と協働するため「岐阜県金融懇談会」を設置
- 中小企業の人材不足解消に向け、実務クラスで深度ある議論のうえ、サポートプランを策定
- セミナーやワークショップの開催等を通じ、継続的にサポートプランを推進

### 概要

#### 岐阜県金融懇談会

(平成30年2月～)

全体会議  
(代表クラス)

テーマ：  
「人材不足」

対応策を検討

取組状況を  
共有

分科会  
(実務クラス)

サポートプランの推進  
(実務クラス)

(※) 中小企業の人材不足解消  
サポートプラン策定

### (※)サポートプランの概要

- 県・市町村・商工団体と金融機関の連携強化
- 事業者の労務環境整備に向けた研修プログラムの構築

### 【プラン等に基づく取組】

- ▶ 分析 (アンケート調査)
- ▶ セミナー
- ▶ ワークショップ
- ▶ 金融懇談会への共有

### 取組の成果

- 県・労働局の公的支援策の紹介のほか、先進事例の共有や地域特性に応じた対応策の議論など、**継続的にサポートプランを推進し、地域課題解決に向けた取組を一層深化**

### 《これまでの主な取組》

セミナー (令和元年10月)	県・労働局の人材不足に係る公的支援策の取組を紹介
第1回ワークショップ (元年12月)	地元大学学長を招き、先進的な取組事例の共有や対応策を議論



セミナーの様様



ワークショップの様様

# 地域主体との地域経済情勢及び課題の共有

各県財務事務所主催により経済調査機能を有する地域主体との意見交換会を継続的に開催し、財務局・財務事務所による経済動向の調査分析結果を地域に情報発信するとともに、地域経済が抱える課題や支援施策などの最新情報について共有。

## 概要

### 各県での開催概要(会議名称、令和元年度テーマ)

#### 岐阜県 「岐阜景気問題連絡会」(年1回開催)

- ・人手不足の現状と課題

#### 静岡県 「しずおか経済フォーラム」(年2回開催)

- ・外国人材の活躍・活用の推進に関する支援施策
- ・中小企業におけるIoT、AI、ロボット等の活用と生産性向上の取組

#### 三重県 「三重景気問題連絡会」(年2回開催)

- ・新名神高速道路等の開通が県内経済に与える影響
- ・三重県経済の現状と課題

※主な参加機関

県、商工団体、民間金融機関、政策金融機関、シンクタンクなど

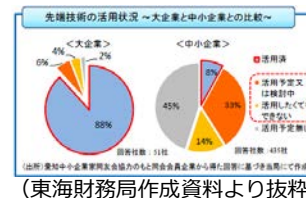
※各県ともに昭和54(1979)年から長期にわたり継続して開催

## 取組の成果

### 代表事例「第104回 しずおか経済フォーラム」

(令和元年11月14日)

テーマ： **中小企業におけるIoT、AI、ロボット等の活用と生産性向上の取組**



調査結果・課題の共有

調査分析結果を活用し、東海地域の中小企業における先端技術の活用状況と課題を説明。

支援施策・好事例の横展開

外部講師より先端技術活用に向けた支援施策と生産性向上の好事例を紹介。



意見交換、情報発信



意見交換の様子

財務局・外部講師からの情報を共有のうえ意見交換。開催結果は財務事務所ホームページで公表。

⇒ <http://tokai.mof.go.jp/sizuoka/pagetokaihp036000259.html>

## 担当教諭との協働による財政教育プログラムの新たな展開

- ・ 財政教育プログラムは、子どもたちに日本の将来についての意識を高めてもらう出張授業として広がりが見られるなか、さらに深い「気づき」・「考察」に導くような授業の要望もあるところ
- ・ こうした要望に応えるため、同プログラムに理解のある担当教諭と協議し、新たな授業プランを策定(静岡県内の高等学校2校で実施)

### 概要

#### ▶問題意識

- ・ 国の借金を将来世代が負担することへの不公平感の軽減
- ・ 日本の素晴らしさを財政を通じて伝えたい

⇒現在と過去の財政を対比させることで達成できないか

#### ▶授業プラン(富士市立高等学校の例)

- ・ 全16コマの授業を担当教諭と分担(財務局は5コマを担当)
- ・ 現在→過去→未来の順で財政を考える流れで構成

##### ①現在(財政を知る)

- ↓
- ・ 通常の財政教育プログラムを実施
- ・ 財政の現状、課題を認識

##### ②過去(過去を知る)

- ↓
- ・ 前回東京オリンピック(1964年)の時代背景や予算等を考察

##### ③未来(2020年度予算を考える)

- ・ 過去を踏まえた「将来ビジョン」を作成・発表
- ・ 将来ビジョンに基づく2020年度予算案を作成・発表



「将来ビジョン」発表の様子

### 取組の成果(生徒の声)

#### ▶富士市立高等学校(3年生79名)

- ・ 「新幹線や高速道路、社会保障など、今は普通にあるものが過去の努力によって整備されたことを知った」
- ・ 「過去の日本も多くの課題を抱え、解決に必死だったことが分かった」



グループワークの様子

#### ▶静岡県立駿河総合高等学校(3年生43名)

- ・ 「過去を知れば知るほど、今の財政は良く考えられていると思った」
- ・ 「若者対高齢者にならないように必死にプランを考えた」



予算案発表の様子

### 今後の課題

- ・ 内容を充実させつつ、より効果的・効率的な授業に向けた協議を引き続きお願いしたい(担当教諭)
- ・ 生徒の学びの深さに対応できるよう、財政知識など自身のスキルアップを図っていきたい(若手スタッフ)